

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月5日(土)①

担当部局・担当課名: 農林水産部森林政策課

事業名	富山県林業カレッジ運営推進事業	評価結果	一部改善
-----	-----------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・成果の検証(フォローアップ調査)が必要(生産性の向上、労災の減少、習得技術が現場で使われているか)
- ・林業振興によって県民目線でどのようなメリットがあるかPRした方が良い。
- ・林業振興は国にも頼るべき。

【県民評価者の意見】

- ・カレッジを修了することについてのインセンティブがあるかなど、把握することも大切ではないか

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	21
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (県が補助金を出さず、運営主体に任せる)	役割分担 見直し (市町村で実施または近県と連携し広域実施)	抜本的改善 (例: 研修内容の変更、研修コストの見直し)	一部改善 (成果の捉え方の見直し)	現行どおり ・拡充
	0	1	5	13	2

県民評価者の主なコメント	評価結果と同じ評価	<p>【一部改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の見直しや効果分析が必要。 ・実施した内容に対しての効果を継続して確認していくべき。(技術の向上率を数値で確認、受講者に対して継続的にアンケートを実施 等) ・労働者を派遣している組合・会社から参加費用は徴収しているのか。 ・林業従事者のうち、研修を受けている人はどのくらいいるのか。受けている人がすぐに辞めていれば、あまり意味がない。 ・林業従事者は、労災面あるいは自然保護・維持の観点から専門性が高いとみられてもよいのではないか。 ・富山県の林業担い手は足りているのか。就業率を上げる必要はあるか。 ・外部講師を呼んでいるが、スマート林業を内部で教えることができる人はいないのか。
	上記以外	<p>【役割分担見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部事業について国や複数の自治体と共同実施 <p>【事業全体の抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金が効率的に使われていない。多額の税金を使用しているが、林業者以外の県民に対するメリットがあまり見えない。 ・個人事業者では、専門の講師を要請することは難しいことから、行政主体のカレッジは必要であるが、成果実績の可視化のため追跡調査は必要。 ・スマート林業が生産性に反映されていない。担い手確保の方法のはずだが、修了者が林業に従事しているのか <p>【現行どおり・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容は現行のままで事業費を拡充すべき。

【参考】委員による評価

委員総数	4
------	---

評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	1	2	1	0